

令和7年（2025年）2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（3日目）

令和7年2月25日（火）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 （会派名）	発言事項	発言要旨
1	山川 典二 （なは自民・みんなの協働！） 質問方式 一問一答方式 （質問席のみ）	1 公金不正受給及び不正請求問題について	（1） 那覇市を含む県内で7園を運営するライオンの子保育園グループによる不正受給問題について伺う （2） 北谷町のコンサルタント会社による障がい者グループホームの不正請求問題について伺う
		2 健康行政について	直近の沖縄県の平均寿命と健康寿命の現状と課題について伺う
		3 観光行政について	（1） 令和6年（暦年）沖縄県入域観光客統計概況内容への見解と本市の取組について伺う （2） 空の玄関口那覇空港の乗降場の現状と取組について伺う
		4 スポーツ行政について	（1） プロ野球春のキャンプの経済波及効果について伺う また、本市にキャンプ中の読売巨人軍（ジャイアンツ）の対応などについて伺う （2） 第97回選抜高校野球大会（3/18開幕甲子園）に秋季九州大会で優勝した沖縄尚学（那覇市）と準優勝したエナジック（名護市）が出場する。本市の支援など見解を伺う
		5 トランプ大統領について	米国トランプ大統領の動向について市長への見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 令和７年２月２５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	奥 間 亮 (なは自民・みんなの協働！) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 土地区画整理事業について 2 「協働のまちづくり」関連について 3 観光と福祉行政の連携について 4 経済振興について	那覇市が敗訴した土地区画整理事業にかかる違法換地処分について、現在、国家賠償請求訴訟の係争中であるが、今後裁判所から和解案や判決が示された際は、違法行政処分によって長年苦しめ続けている被害者市民の心労や負担に鑑み、原告市民が納得のいく解決方法に沿うよう対応すべきである。見解を問う (1) より多くの学生や若年層、青年世代が「協働のまちづくり」に参画することの意義や課題、今後の取組について問う (2) 社会的起業やソーシャルエンタープライズ・スタートアップ、SIB等、民間の力を活かして行政課題を解決する仕組みに対し、さらに力を入れて連携すべきである そこで「なはし社会地域課題解決型起業支援事業」に関し、関連する所管課は、支援を受けた事業者と積極的に連携すべきと要請してきたが、政策統括調整監から今後の取組について答弁を求める 今後、宿泊税にかかる歳入があった場合、その宿泊税収の使途・活用方法について、仮に宿泊事業者の理解が得ることができたときは、観光振興を前提として、結果的に福祉や他分野においてもよい影響があるような「一石二鳥」の施策・事業の財源に充当できる可能性はあるか 県が目指している「自立型経済」の構築に向けて、県都那覇市行政に求められていることは何か。古謝玄太副市長から答弁を求める

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 福祉及び子育て支援について	(1) 障がい者等の重度化や高齢化及び「親亡き後」に備え、障がいのある方が地域で安心して暮らし続けることができるよう取組をさらに推進すべきである。地域生活支援拠点等整備事業の実施にあたって、本市の現状やニーズ、課題を問う (2) 「補装具を申請しても交付されるのが遅く、特に子どもの体の成長は早いため、時間がかかって困っている」との声がある。改善とさらなる支援を求める。見解を問う (3) 「なは障がい者プラン」に記載の「子どもワーキンググループ」においても「医療的ケア児が増えている中で、ショートステイを利用できる施設が少なく、保護者が疲弊している。短期入所やレスパイトできる場所が少ない」という趣旨の検討結果が示されている。短期入所施設の拡充とレスパイト支援体制の強化に向けた取組を加速化すべきである。見解を問う (4) 児童・介護・障がい分野等を含む、全ての福祉事業者がカスタマーハラスメントで苦しむことのないよう、条例制定も含めて、「福祉カスタマーハラスメント」防止に関する支援を、早急に進めるべきである。見解を問う (5) ひとり親世帯に対する支援をさらに推進すべきである。「那覇市ひとり親家庭等日常生活支援事業」及び「養育費履行確保等支援事業」における潜在的ニーズや今後の課題について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 令和７年２月 25 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	山 田 マドカ (立憲民主・社民・ニライ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 福祉行政について 2 障がい児教育について 3 子育て行政について 4 給食費無償化について	先日、骨形成不全症をかかえる車椅子の若者より、専門学校への進学に際し通学中や校内支援について担当課へ要望があった。障がいのある児童が通学する際に、本市ではどのような支援を行っているか伺う 令和７年度に向けての入学説明資料より、支援学級へ入級するための手続き概要として、那覇市の場合は「結果に従うこと」が条件とされており、後に申請の取り消しができない、と記載されている。人権の観点からも親や子が選べる環境を整備することが必要だと考えるが見解を伺う (1) こどもえがお相談課の人員体制について、6月定例会で伺った際には3人が過員配置され、本員より安定した運営のために定数化を要望した。令和７年度の人員体制について、こどもえがお相談課は何人要求して、その結果はどうなったのか伺う (2) 多胎児支援について 9月定例会において、多胎児支援について質問をした際、「多胎児世帯の実情を把握しながら、どのような支援が必要なのか検討していく」との答弁であったが、その後の進捗状況について伺う (3) 産後ケア事業について委託先の拡充が必要だが、これまでの実績及び拡充に向けた取組について伺う 本市では次年度より給食費の無償化を行っていくこととなったが対象児童について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 子どもの居場所について	那覇市社会福祉協議会に委託実施している子どもと地域をつなぐサポートセンター系のネットワークに加入するボランティアの子どもの居場所8団体より、子どもの居場所の補助金増額のお願いの陳情が出され、令和6年2月定例会において採択された。その後の進捗について伺う
		6 学校設備について	若狭小学校の体育館横の校内に入るデッドスペースについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 令和７年２月２５日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	普久原 朝 日 (立憲民主・社民・ニライ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 動物行政について 2 新真和志複合施設建設事業について 3 保育行政について 4 障がい者福祉行政について 5 学校行政について	なはねこサポーターの次年度の取組について伺う 建設に向けた取組の現状を伺う 那覇市の認可保育園の不正受給について対応及び被害について伺う 障がい者グループホームの不正請求問題について、現状の那覇市の対応を伺う 教職員のメンタルヘルス対策及び産業医について (1) 公立学校教員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業について ① 休職復職支援の利用者数とその内容について ② LINEを活用した取組の現状(登録件数) ③ 初任者研修における研修の現状 (2) 学校における産業医の活動について ① 具体的な事例を伺う ② 産業医による職場巡視の状況を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			③ 産業医が配置されていない学校に対する対応状況を具体的に伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 令和７年２月 25 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	上 原 安 夫 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 教育行政について	日本共産党は、1月30日、「このままでは学校がもたない、『教員残業代ゼロ制度』の廃止、授業にみあった教員定数を」の教育政策を発表した。文科省の調査で公立小中学校の教員は平日で平均約11時間半働き、休憩はわずか数分。異常な長時間労働で多くの教員が体を壊し、精神疾患による病休者も急増し、「授業準備や子どもと関わる時間がない」と訴えている。本市立小中学校の教職員の長時間労働の状況を問う
		2 給付型奨学金について	給付型奨学金事業の推移を問う
		3 乳幼児の支援について	国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」の乳幼児期の貧困実態調査の概要と見解を問う
		4 第4次那覇市男女共同参画計画について	第4次那覇市男女共同参画計画の進捗状況と課題を問う
		5 SNSを悪用した詐欺被害について	SNS型投資・ロマンス詐欺と特殊詐欺の県と本市の実態を問う
			【答弁を求める者】 教育長、関係部長

一般質問（3日目） 令和7年2月25日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	上 原 ゆいな (なは自民・みんなの協働！) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 カスハラ未然防止について	(1) 現状と今後の計画について伺う (2) 電話でのお問い合わせの際の対策方法について伺う
		2 こどものデータ連携について	(1) 那覇市の児童虐待の通報件数と、現在の取組と今後の計画について伺う (2) 現在の抱えている課題解決の基盤となる各担当課でのデータ連携について、先行する自治体の取組を調査研究するべきではないか見解を伺う
		3 那覇市版 S I Bについて	那覇市版 S I Bについて、現状及び今後の計画と、それに対する課題について伺う
		4 児童クラブについて	那覇市の児童クラブの現在の待機児童を含む課題を伺う
		5 地域連携について	P T A主催で那覇市の小学校で予定されていた航空自衛隊の音楽隊による演奏会が市民団体からの要請により中止された。この問題を通じて自衛隊の活動に対する理解が進んでいないことが分かり残念だと考えるが、これを契機に自衛隊の活動に対する理解を深める必要性を感じ、地域との連携を進めることを提案するが見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 令和７年２月 25 日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 公共施設のアスベスト除去について 2 市営住宅のアスベスト対策について 3 小禄市営住宅について 4 安謝複合施設のP F O Sの除去について 5 消防力の充実について 6 随意契約ガイドラインについて 7 航空法について 8 航空自衛隊機及びエンジン調整の騒音について	アスベスト含有の可能性がある公共施設のアスベスト調査が必要である。見解と取組・スケジュールを問う アスベスト調査が必要である。見解と取組・スケジュールを問う アスベスト除去・改修のスケジュールを問う スケジュールについて問う 警防・予防・救急・救助等の各分野の充実強化を図り、あらゆる災害に対応できる体制整備が必要である 消防職員の充実について、見解と取組を問う 沖縄県をはじめ、多くの中核市などでも、ガイドライン等が策定されている。見解を問う 自衛隊のヘリコプターに低空飛行の疑念がある説明を求める 那覇市独自に、騒音測定を行うべきである見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		9 GW2050 PROJECT 推進協議会への税金の支出について	平成 26 年度 包括外部監査結果報告書「補助金及び交付金、負担金に係る財務事務の執行並びに事業の管理について」2. 那覇市における補助金に関する規程(1)那覇市補助金等交付規則。交付規則 2 条 1 項において、「補助金等」とは、「市が市以外の者に対して交付する次に掲げるものをいう。(1)補助金 (2)利子補給金 (3)その他相当の反対給付を受けない給付金であって、市長が別に定めるもの」と定義づけられている。よって、補助金という名目ではなく交付金、助成金、負担金、奨励金等の名目であっても、交付規則の対象となりうる。としている。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長